

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360020			
科目名	OA演習C	年次配当	2年次
担当者	板倉 一枝・三沢 英貴	開講時期	通 年
所 属	国際文化交流学科・生活学科	資格選択区分	上級情報処理士資格必修
授業形態	演習		
単 位 数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要	
Microsoft PowerPoint等のプレゼンテーションソフトの操作とプレゼンテーション技術、Accessを用いてデータベースとVBAに関する知識と技術を実践しながら習得する。	
到達目標	
プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を理解し、自分の考えをまとめて相手にわかりやすく伝えることができる。また、Accessの基本的な使い方を理解し、Accessによる基本的なデータベース管理とVBAを用いた簡単なシミュレーションができる。	
教材	
教科書(テキスト)	テキスト以外
1回～6回：テキストなし	1回～6回：必要に応じて資料配布
7回～最終：テキストなし	7回～最終：必要に応じて資料配布
評価方法	
1回～6回：20% (課題40%、授業態度60%)	
7回～最終：80% (提出物(課題)30%、定期試験70%)	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
プレゼンテーションでは、操作技術やスライド作成のアイデアだけではなく、プレゼンテーションの技法も大切です。より効果的なプレゼンテーションが行えるようになりましょう。 Accessによるデータベース管理技術やVBAの基本的な知識は、社会の様々な場面や研究活動に役立ちます。しっかりとした基礎を身につけるために是非受講して下さい。	

授業計画	
1 プレゼンテーションとは?	16 VBAの基礎①(変数と階層)
2 スライドの作成と文字の入力	17 VBA基礎②(戻り値、分岐)
3 図表、グラフの作成と挿入	18 VBA基礎③(種々の繰返し)
4 アニメーションの設定	19 メッセージ表示、文字等を用いた計算
5 課題制作	20 ファイル出力について
6 発表の準備と応用利用	21 乱数と演習問題
7 データベースとは?、Accessの紹介	22 課題Ⅰ:乱数を利用したシミュレーションⅠ
8 テーブルの作成と操作	23 課題Ⅰの作成例と詳細解説
9 データシートの利用と操作	24 配列の基本
10 クエリを用いた情報抽出	25 課題Ⅱ:乱数と配列を利用したシミュレーションⅡ
11 フォーム、レポートの利用	26 課題Ⅱの作成例と詳細解説
12 テーブルとクエリの活用(応用)	27 課題Ⅲ:マルコフ過程を考慮した天気予測
13 フォームとレポートの活用(応用)	28 課題作成、課題提出
14 リレーショナルデータベースとは?	29 課題Ⅲの作成例と詳細解説
15 まとめ(データベースの知識について)	30 まとめ

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360051			
科目名	特別研究	年次配当	2年次
担当者	専任教員全員	開講時期	通年
所属	生活学科情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	演習		
単位数	2単位 必修		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要	
<p>情報・経営専攻の専門教育の行われている範囲内からより深く学び研究したい分野を選び、テーマを決めて1年間研究を行う。各自が担当教員から指導助言を受けた上学習、研究を行い論文や作品にまとめ発表を行う。</p>	
到達目標	
<p>専攻分野に関し、主体的に調べ、考えまとめ、発表表現することができる。</p>	
教材	
教科書(テキスト)	テキスト以外
なし	担当教員により適宜提供
評価方法	
発表30%、提出物70%	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
<p>1月に「特別研究発表会」を公開の形でを行います。各自が選択したテーマを発表することは皆さんの学生生活の中で最も印象に残るものとなります。是非積極的にテーマを見つけ、生涯にわたって自らの生きていく上での基礎になるものを身につけていただきたいと思います。</p>	

授業計画	
1 前期は担当教員ごとにグループに分かれ専門	16 後期は各自の選んだテーマの研究を指導教員
2 分野の内容や研究方法、基礎力養成を行い、ゼミ	17 の指導下で行う。その成果をまとめ上げる。
3 形式での演習を行う中で各自の研究テーマを選定	18 この成果は論文または作品としてまとめ上げ
4 する。	19 発表会において発表をおこない、その後提出す
5 選定したテーマについて資料収集などを行い	20 る。
6 前期の最終回に中間発表を行う。	21
7	22
8	23
9	24
10	25
11	26
12	27
13	28
14	29
15	30

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360063			
科目名	基礎数学	年次配当	2年次
担当者	野津 伸治	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ウェブデザイン実務士資格選択 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

<p>授業概要</p> <p>線形代数の基礎的な理論を理解し、具体的に計算することで計算力をつける。説明の過程では可能な限り図示しながら、確実に理解できるように教授する。</p>
<p>到達目標</p> <p>3次元の連立一次方程式をいかに合理的に解くことができるかを理解し、具体的な数値例が解けるようになる。</p>
<p>教材</p> <p>教科書(テキスト) テキスト以外</p> <p>米田二良『計算問題中心の線形代数学、第2版』 学術図書出版社</p>
<p>評価方法</p> <p>小テスト100%</p>
<p>学生に対するメッセージ (準備学習等)</p> <p>高校1年生までの数学を前提としており、高校で学ばなかった分野は概要を説明し、この講義の学習の準備も行う。毎回練習問題を実際に解いてみよう。</p>

<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平面上のベクトル、空間内のベクトル 2 空間内の平面の方程式 3 行列の演算、行基本変形と行列の階数 4 基本行列と逆行列の計算方法、連立1次方程式の解法 5 ベクトルと行列のまとめ、小テスト(#1/3) 6 2次の行列式、3次の行列式の定義、4次以上の行列式の定義 7 転置行列と行列式、余因子展開 8 数ベクトル空間とその部分空間、1次独立と1次従属、部分空間の基底と次元 9 線形写像と行列、内積と直交変換 10 行列式と数ベクトル、線形写像のまとめ、小テスト(#2/3) 11 固有値と固有ベクトル 12 行列の対角化 13 実対称行列の直交行列による対角化 14 行列が対角化できるための条件、実2次形式 15 固有値と固有ベクトルのまとめ、小テスト(#3/3)

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360008			
科目名	経営学	年次配当	2年次
担当者	藤本 晴久	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

I Tの普及、グローバル化の進展、M&A（合併・買収）の増加など、企業を取り巻く環境は大きく変化している。その中で企業を健全に運営するにはどうしたらよいのだろうか、という視点を軸に学習する。

到達目標

企業経営の要である、組織管理、人事管理、生産管理、流通・マーケティング、財務管理などの基礎知識を習得することを目標とする。

教材

教科書(テキスト)
未定

テキスト以外
適宜、配布する。

評価方法

定期試験60%、小テスト10%、授業態度10%、提出物20%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

企業活動の基礎知識を学習して、「即戦力」として必要とされる力量を身につけよう！

授業計画

- 1 インTRODクシヨN 授業の進め方
- 2 経営学とは何か
- 3 会社の種類
- 4 経営管理の諸理論
- 5 科学的管理法とフォードシステム
- 6 P D C A サイクル
- 7 経営組織論
- 8 生産管理論
- 9 経営戦略の諸理論
- 10 環境分析、P E S T分析、S W O T分析、A B C分析
- 11 マーケティング
- 12 財務管理と経営
- 13 経営分析
- 14 まとめ①
- 15 まとめ②

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360012			
科目名	生活経済学	年次配当	2年次
担当者	野津 和功	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 必修		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	「くらしの経済・法律講座」受講生

授業概要	
鳥取県生活環境部消費生活センターと連携し、「くらしの経済・法律講座」として開講する。消費者行政、消費に関する法律、財政・金融、安全な製品や食品、生活設計（保険、年金など）、インターネット、くらしと経済などをテーマに講義や解説を行なう。	
到達目標	
消費者基本法の改正に伴って、わが国の消費者行政は保護施策から自立支援施策へ転換された。本講座は、消費者教育の一環として開講される。学生や受講生が消費者問題に対する意識を高めるとともに、消費者問題解決のための専門的知識と方法を身につけることを目標とする。	
教材	
教科書(テキスト) 使用しない	テキスト以外 毎回担当者が講義資料として印刷物を配布する
評価方法	
定期試験80%、提出物20%	
学生に対するメッセージ（準備学習等）	
この授業は、本学と鳥取県が連携して「くらしの経済・法律講座」として一般県民の方々にも公開している。消費生活や消費者問題について、毎回、弁護士、県職員、金融広報アドバイザー、大学教員など法律、行政、経済の各専門家が講義を担当する。このような機会は普段なかなかないので、関心を持って、熱心に受講してほしい。「授業計画」については、担当者の都合などにより変更することがある。	

授業計画	
1 授業ガイダンス	野津和功
2 消費者被害・悪質商法の現状	鳥取県消費生活センター
3 法律の基礎知識	弁護士
4 消費者法	弁護士
5 法律トラブル対処法	弁護士
6 法テラスの活用	弁護士
7 日本の財政の仕組みと現状	鳥取財務事務所
8 金融のしくみと日本の金融政策	日本銀行鳥取事務所
9 製品の安全と誤使用防止	製品評価技術基盤機構
10 食品の安全と表示	鳥取県くらしの安心推進課
11 年金についての基礎知識	鳥取県金融広報アドバイザー
12 保険の基礎知識（生保・損保）	鳥取県金融広報アドバイザー
13 インターネットの活用	野津伸治
14 生活経済の基礎知識	野津和功
15 くらしの中の経済問題	野津和功

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360021			
科目名	中小企業論	年次配当	2年次
担当者	福美 秀敏	開講時期	前期
所属	非常勤講師	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要	
中小企業の本質と魅力その存在価値について探求します。	
到達目標	
中小企業とは何か。中小企業はどうあるべきか。グローバル化が急速に進む中で、その動向などについて理解を深めることにより、経営について考えることができる。	
教材	
教科書(テキスト) 授業毎に資料を配布	テキスト以外 なし
評価方法	
定期試験80%、提出物20%	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
全事業所数に占める中小企業比率は99.7%。景気情勢の先行き不透明感、グローバル化の進展による企業間競争の激化により、皆さんにとって就職環境はますます厳しさを増しています。こうしたときこそ視野を広げ、活力と魅力に溢れた将来性のある中小企業とはどういうものか、新たなビジネスを創造することの意義・考え方・手法を理解しておくことが、今後の就職活動において大変重要になってきます。	

授業計画
1 中小企業論の概説
2
3 わが国経済の現状と課題
4
5 中小企業の基礎知識
6
7 世界の中小企業政策
8
9 わが国の中小企業政策
10
11 新事業創造の意義と中小企業の新展開
12
13 新事業創造の本質とベンチャー・スピリット
14
15 新事業創造のためのマーケティング戦略

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360030			
科目名	企業の法律	年次配当	2年次
担当者	岩井 和由	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	5名

授業概要

ビジネス法に対する体系的かつ必要不可欠な知識を、法律科目にとらわれず横断的に理解できるように解説する。内容は東京商工会議所ビジネス法務検定3級に準拠している。

到達目標

ビジネスに必要な法律の基礎を身につけ、社会に出ても最低限の法的判断ができる。

教材

教科書(テキスト)	テキスト以外
ビジネス実務法務検定3級公式テキスト	適宜配布

評価方法

定期試験100%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

企業の不祥事は絶えることがない。しかし、企業が法的対応を誤ると一流といわれる企業であっても存立の危機に至ることもある。法律に関する最低限の知識があればこれらのリスクは回避できるはずである。故にこの能力を備えた人材は企業にとって不可欠な人材である。是非その能力を身につけてほしい。

授業計画

- | | | |
|----|---------------|------------------------|
| 1 | ビジネス実務の概要 | ビジネスとビジネス実務法体系 |
| 2 | ビジネス法の概要 | 法律の基礎知識 |
| 3 | 取引の主体 | 権利義務の主体と会社の仕組み |
| 4 | 会社取引と法務 | 契約法の基礎 |
| 5 | 会社取引と法務 | 取引の決済 |
| 6 | 会社取引と法務 | 契約者および契約関連文書 |
| 7 | 会社財産の管理と法務 | |
| 8 | 債権の管理 | |
| 9 | 債権の回収 | |
| 10 | 会社の活動と法務 | 取引に関する各種規制 |
| 11 | 会社の活動と法務 | ビジネスと犯罪 |
| 12 | 労働と法務 | 従業員の雇用と労働法 |
| 13 | 労働と法務 | 職場の男女雇用にかかわる問題・最近の労働形態 |
| 14 | ビジネスに関わる家族と法務 | |
| 15 | まとめ | |

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360042			
科目名	ビジネス実務実習	年次配当	2年次
担当者	岩井 和由	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	実習		
単位数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要	
<p>ビジネス実務に関する既得の知識、技能について実際のビジネスの現場にふれてみてその体験により、より深い理解を取得する。各自が受け入れ企業を開拓する活動は就職活動にもつながる。</p>	
到達目標	
<p>自分が得た知識をビジネスの現場で生かすこと。</p>	
教材	
教科書(テキスト)	テキスト以外 プリント・レジメなど
評価方法	
<p>実技50%、提出物50%</p>	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
<p>百聞は一見にしかずという。机上で得た知識と現場で得る知識は異なる。業務に実際に従事してみるとで学んだことを再確認するとともにたりない部分を体で感じ取ってほしい。それを自身の向上に役立ててほしい。</p>	

授業計画	
1	事前研修 5時間
2	インターンシップの意義と注意事項
3	職場体験 月から金を原則 1週間5日で行う 40時間
4	毎日受け入れ先で報告書を作成
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	レポート作成と報告

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360044			
科目名	ビジネス実務演習B	年次配当	2年次
担当者	池本 道子	開講時期	前期
所属	非常勤講師	資格選択区分	ビジネス実務士資格必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	演習		
単位数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	5名

授業概要

「ビジネス実務概論」で学んだ知識・理論を踏まえて「ビジネス実務」の基本的な事柄と心構えについて学習をする。

到達目標

ビジネス実務に関わる具体的な現場を想定した状況で、プロの職業人としての振る舞い、心構えが身についている。

教材

教科書(テキスト)

ビジネス実務演習 福永弘之編著 樹村房

テキスト以外

テキストの他電話機、接遇用具、VTR、プロジェクター

評価方法

試験60%、実技10%、提出物10%、発表10%、授業態度10%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

「挨拶」「敬語が使えない」「自分の意思を的確に表現できない」・・・卒業生を迎え入れる企業や社会の目は厳しい。

上司・先輩・同僚・取引先・顧客などの対人関係をスムーズに築くために不可欠なこの第一関門をうまく通過し、さらにスキルアップする技法を、実習を通して身に付けよう。

授業計画

- 1 社会人としての心構えと働き方の基本
- 2 役職と会社組織
- 3 会議・会合・コーディネート業務
- 4 話し方と言葉づかい
- 5 積極的な聴き方とコミュニケーションをはばむ対応
- 6 接遇(応接と処遇)のマナー
- 7 接遇(応接と処遇)のマナー
- 8 電話対応の基本
- 9 電話対応の基本
- 10 交際業務・慶弔と贈答
- 11 ビジュアルプレゼンテーションの種類
- 12 交渉・契約・印鑑
- 13 文書作成の基本
- 14 人的ネットワーク形成と秘書
- 15 オフィスの環境整備

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360074			
科目名	資格情報処理B	年次配当	2年次
担当者	山崎 直子	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	演習		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	2名

<p>授業概要</p> <p>国家試験である、情報処理技術者試験区分のITパスポート受験対策。</p>
<p>到達目標</p> <p>今までの知識をベースに最新の検定問題集を用いて、演習を繰り返しITパスポート試験合格と同等の力を身につける。</p>
<p>教材</p> <p>教科書(テキスト) テキスト以外 各検定問題集 (最新のもの)</p>
<p>評価方法</p> <p>試験80%、授業態度20%</p>
<p>学生に対するメッセージ (準備学習等)</p> <p>問題演習をしっかり繰り返し、ITパスポート試験合格を目指しましょう。</p>

<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報の基礎理論 2 ハードウェア 3 ソフトウェア 4 データ構造とアルゴリズム 5 システムの構成 6 システムの開発と運用 7 ネットワーク技術 8 データベース技術 9 セキュリティと標準化 10 情報化と経営 11 問題演習 (情報の基礎理論、ハードウェア) 12 問題演習 (ソフトウェア、データ構造とアルゴリズム) 13 問題演習 (システムの構成、開発と運用) 14 問題演習 (ネットワーク、データベース) 15 問題演習 (セキュリティ、情報化と経営)
--

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360076			
科目名	資格情報処D	年次配当	2年次
担当者	三沢 英貴	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	演習		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

国家試験である、情報処理技術者試験の試験区分の「基本情報技術者試験」の受験対策を行う。資格情報処理Cと重複する内容もあるが、本科目では午後対策として実践技術を学ぶためのプログラミング演習を充実させる。

到達目標

基本情報技術者の出題範囲においてもポイントとなるプログラミングに関する基本的な知識と技術を理解し、アルゴリズム実装のための必修要素（繰返し、分岐、乱数、配列、参照（添え字と引数の関係））を含むプログラミング能力を身につけている。

教材

教科書(テキスト)
無し

テキスト以外

出題範囲の基本知識や考え方をまとめた資料および過去問の類似問題を作成、配布。

評価方法

提出物100% (20%×5)
(2次元配列応用課題、確率的シミュレーション、成績管理、マルコフ過程課題、最終課題)

学生に対するメッセージ (準備学習等)

資格情報処理Cの復習およびプログラミングの知識、技術を強化するための科目です。また、開講タイミングを考慮して、受講生が資格情報処理Cを受講した者のみである場合には、初回から午後対策であるプログラミング演習へ切り替える可能性もあります。

授業計画

- 1 コンピュータ科学基礎 基数変換、誤差、シフト演算、データ構造、アルゴリズム
- 2 コンピュータの構成/システム (1) 5大要素、CPUの処理手順と高速化
- 3 コンピュータの構成/システム (2) 補助記憶、システム構成、処理効率、信頼性
- 4 開発と運用 プログラム言語、パッケージの種類、開発環境と手法、保守
- 5 ネットワーク技術/データベース アーキテクチャ、通信速度、正規化
- 6 情報化/経営 企業会計、経営工学
- 7 プログラミング演習 (1) 入出力、単ループ、N重ループ
- 8 プログラミング演習 (2) 条件分岐、乱数、モンテカルロ法
- 9 プログラミング演習 (3) 無限ループ、1次元配列
- 10 プログラミング演習 (4) 2次元配列 (基礎演習)
- 11 プログラミング演習 (5) 2次元配列 (応用演習)
- 12 プログラミング演習 (6) 2次元座標を考慮した確率的シミュレーション
- 13 プログラミング演習 (7) 成績管理プログラム
- 14 プログラミング演習 (8) マルコフ過程機能を有するジャンケンプログラム
- 15 最終課題

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360077			
科目名	資格情報処理E	年次配当	2年次
担当者	野津 伸治	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	演習		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

国家試験である、情報処理技術者試験の試験区分の「応用情報技術者試験」の受験対策を行う。また、資格情報処理Fと合わせて全試験分野をカバーする。特に「情報理論」、「ハードウェア」、「ソフトウェア」および「データベース」に関する午前問題と午後問題の受験対策を行う。

到達目標

応用情報技術者試験の出題範囲における「情報理論」、「ハードウェア」、「ソフトウェア」および「データベース」に関する知識と技術を理解して、応用情報技術者試験に挑戦できることを目指す。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
高橋麻奈「やさしい応用情報技術者講座2011年版」ソフトバンク・クリエイティブ

評価方法

小テスト100%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

資格情報処理AからDまでに学習した情報処理に関する基本的な知識をさらに掘り下げて学習します。

授業計画

- 1 情報理論(1) 情報、基礎知識、集合・論理演算
- 2 情報理論(2) 数値表現、誤差、ビット演算
- 3 情報理論(3) オートマトン、小テスト#1/4
- 4 ハードウェア(1) 基本、プログラムの実行、割り込み処理
- 5 ハードウェア(2) CPU
- 6 ハードウェア(3) メモリ、補助記憶装置
- 7 ハードウェア(4) 入出力装置、周辺機器の接続規格、小テスト#2/4
- 8 ソフトウェア(1) OS
- 9 ソフトウェア(2) 排他制御、アルゴリズム
- 10 ソフトウェア(3) 木構造、探索
- 11 ソフトウェア(4) 整列、高度なアルゴリズム、小テスト#3/4
- 12 データベース(1) 基本、正規化
- 13 データベース(2) 設計、利用
- 14 データベース(3) アプリケーションとの連携、管理システムの仕組み
- 15 データベース(4) 分散データベース、小テスト#4/4

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360064			
科目名	基礎統計	年次配当	2年次
担当者	藤本 晴久	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要	
統計学の基礎的知識について学びながら、実践的な統計学の技能を身につけることを目的とする。	
到達目標	
授業は、(1)あることを調べたい時に、どのような手法があるのか、(2)その手法がどのような考え方(ロジック)によって成立しているのかという点などに焦点をあて、その技能を習得する。	
教材	
教科書(テキスト) 未定	テキスト以外 適宜、配布する
評価方法	
定期試験60%、小テスト20%、提出物20%	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
世の中にはたくさんのデータがあふれています。それらがどのような意味をもつのか、それを分析するのが統計学です。多くの方がデータ分析の考え方と実際に使えるスキルを身につけ、意味あることがらを見つけ出して欲しいと願っています!	

授業計画
1 インTRODクシヨN 授業の進め方
2 統計学とは何か
3 平均を調べる
4 度数分布を調べる
5 ばらつきを数字にする(分散と標準偏差)
6 小テストと復習
7 信頼区間①
8 信頼区間②
9 小テストと復習
10 χ^2 乗検定①
11 χ^2 乗検定②
12 小テストと復習
13 t検定①
14 t検定②
15 まとめと復習

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360003			
科目名	人間関係論	年次配当	2年次
担当者	河村 壮一郎	開講時期	後期
所属	生活学科 住居・デザイン専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	3名

授業概要

他者との結びつきは私たちの生活や心の中でも重要な位置を占めています。授業では、社会心理学や臨床心理学等で得られた知見を解説しながら、自己や対人場面で身近に起こっている現象を見直し、ワークショップも含めて理解を深めます。

到達目標

青年期には人間関係について思いこみが強かったり、経験が不足していることがあります。時には対人関係に悩むことがあります。授業では人間関係の心理的側面を中心に、対人行動について理解を深めます。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
 「ワークショップ 人間関係の心理学」
 藤本 忠明・東 正訓 ナカニシヤ出版

評価方法

レポート60%、小テスト20%、授業態度20%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

人間関係を充実できることは、人生での価値を増やすことにもなります。自分自身の人間関係を確認し、発展する機会を見つけてください。

授業計画

- 1 序論 人間関係の心理学
- 2 人間関係の認知1 対人認知
- 3 人間関係の認知2 対人魅力
- 4 人間関係の認知3 表情と感情
- 5 人間関係の欲求1 社会的欲求
- 6 人間関係の欲求2 欲求と社会的行動
- 7 人間関係の欲求3 フラストレーションと防衛機制
- 8 対人コミュニケーション1 説得、態度変容
- 9 対人コミュニケーション2 ノンバーバルコミュニケーション過程
- 10 対人コミュニケーション3 ボディ・ランゲージの理解
- 11 集団人間関係1 集団の構造、形成
- 12 集団人間関係2 集団の疑集性
- 13 集団人間関係3 リーダーシップ
- 14 職場における人間関係
- 15 まとめ、質問、討議

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360009			
科目名	コミュニケーション	年次配当	2年次
担当者	吉田 収司	開講時期	後期
所属	非常勤講師	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要

サルからヒトに進化すると同時にヒトは二足歩行を覚え、音声器官もそれにつれて発達しました。人類の創生期においても現代においても社会環境を無視してはコミュニケーションは考えられません。食糧の獲得や文化の創造は高度なコミュニケーション技術によって獲得されたことを学習します。

到達目標

「コミュニケーション」について基本的な事項を理解し、自身の人間関係の中で活かそうとすることができる。

教材

教科書(テキスト)

「コミュニケーション学への招待」橋元良明編著
大修館書店発行 定価2,100円(税抜き)

テキスト以外

「From Ape to Adam」
Thames and Hudson 共著

評価方法

試験100%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

いじめを苦に子供達はなぜ沈黙の中で自殺してゆくのだろうか? 父親や母親はなぜ我が子を虐待するのか? なぜ夫は妻に暴力(ドメスティックバイオレンス)的なのか? マス・コミの流すメッセージは真実だろうか? 情報化社会の進歩とともに、人と人のコミュニケーションは壊れつつあるようです。今こそ豊かな人間関係を育てるために、コミュニケーションの原点に返って考えましょう。

授業計画

- 1 コミュニケーション概論
- 2 History of Communications
- 3 人はいつ頃、何のためにコミュニケーションをとり始めたのか?
- 4 コミュニケーションの無意識的情報処理とは何か?
- 5 農耕民族と狩猟民族の思想~使う言語によって、ものの見方は変わるだろうか?
- 6 コミュニケーションの協調原則ってどんなこと?
- 7 イルカやミツバチは本当にコミュニケーションをとっているのだろうか?
- 8 ノンバーバル(非言語)コミュニケーションってなに?
- 9 皆でパネル・ディスカッションをやってみよう(テーマの決定とパネラーの選出)
- 10 マス・コミュニケーション入門
- 11 幼児にテレビを見させておけば本当に言葉を覚えるだろうか?
- 12 マス・コミの脅威とロコミの驚異
- 13 マス・コミにおける広告の機能(スポンサーと視聴者・読者のコミュニケーション)
- 14 異文化コミュニケーション
- 15 価値観とライフ・スタイル、異文化と自文化の関係

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360022			
科目名	現代ビジネス論	年次配当	2年次
担当者	藤本 晴久	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

<p>授業概要</p> <p>日本経済がもつ強さと弱さの基礎は、法人資本主義（会社本位主義）にある。したがって、授業では「法人資本主義とは何か」という点を重点的に学習し、日本経済についての理解を深める。</p>
<p>到達目標</p> <p>日本的経営、企業集団、株式相互持合い、政官財の癒着などに代表される日本の会社本位主義は大きな転換点にある。授業では、会社そのものに焦点をあて、現代の企業社会について理解することを目標とする。</p>
<p>教材</p> <p>教科書(テキスト) 未定</p> <p>テキスト以外 適宜、配布する。</p>
<p>評価方法</p> <p>定期試験60%、レポート20%、授業態度20%</p>
<p>学生に対するメッセージ（準備学習等）</p> <p>自分が勤める、または勤めたい会社をイメージしながら、会社で働くとはどういうことなのか考えていこう！</p>

<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨN 授業の進め方 2 会社とは何か① 3 会社とは何か② 4 会社は誰のものか 5 法人資本主義とは何か 6 企業集団 7 企業系列 8 会社人間とその労働 9 財界とは何か 10 政治と企業の関係 11 政官財の癒着構造 12 日本型法人資本主義 13 グローバル化と企業買収 14 まとめ① 15 まとめ②

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360070			
科目名	地域経済論	年次配当	2年次
担当者	藤本 晴久	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

地域社会・地域経済の活力を何に求めるか、山陰地域の現状を把握し、施策を考える。

到達目標

日本の地域は、グローバル化と不況のなかで翻弄されている。本授業は、山陰地域を対象に、フィールドワーク（現地調査）を活用しながら、山陰経済のあるべき姿を考え、地域活性化策を提案できるようになることを目標とする。

教材

教科書(テキスト)
未定

テキスト以外
適宜、配布する。

評価方法

定期試験60%、レポート20%、授業態度20%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

山陰地域・山陰経済の発展のためには、どうしたら良いのか？この地域で、自分はどう働きたいのか考えていこう！

授業計画

- 1 インTRODクシヨン 授業の進め方
- 2 現代日本の地域経済と地域問題①—地域経済の形成過程
- 3 現代日本の地域経済と地域問題②—経済のグローバル化と地域
- 4 現代日本の地域経済と地域問題③—産業構造の転換と地域経済構造
- 5 現代日本の地域経済と地域問題④—都市と地域
- 6 地域を調べる①—山陰の地域経済
- 7 地域を調べる②—鳥取の地域経済
- 8 地域を調べる—フィールドワークの仕方
- 9 地域を調べる—フィールドワークに行ってみよう
- 10 地域を調べる—フィールドワークをまとめる①
- 11 地域を調べる—フィールドワークをまとめる②
- 12 地域経済社会の発展—山陰の地域経済政策を考える
- 13 地域経済社会の発展—鳥取の地域経済政策を考える
- 14 地域経済社会の発展—倉吉の地域経済政策を考える
- 15 まとめ

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360066			
科目名	情報科学Ⅱ	年次配当	2年次
担当者	野津 伸治	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	上級情報処理士資格必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

情報科学の基本概念や思考方法、具体的にはアルゴリズム・計算量・パターン認識をプログラムを動かしながら説明する。プログラムはR u b yという言語の必要最小限を利用して説明を行う。

到達目標

情報とは何か、これを表現し取り扱う方法を学び、現実の計算の枠組みを理解できる。その後計算モデルのクラス分けをし、次に計算の手間と見積もり方を学び、これらが現実でも有効なことを確認し、計算のオーダーとその階層化と計算不能性を理解できる。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
 増原英彦+東京大学情報教育連絡会『情報科学入門』東京大学出版会、2010年

評価方法

小テスト100%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

詳細も大切ですが、計算全般の総合的なイメージを描くことを目指します。

授業計画

- 1 プログラミング言語R u b yとは
- 2 R u b y での変数と関数の定義
- 3 配列による画像の表示
- 4 条件分岐・論理演算・文字列・画像の作成
- 5 繰り返しと再帰による反復計算の定義、小テスト# 1/3
- 6 配列・文字列と繰り返し
- 7 F i b o n a c c i 数を求めるアルゴリズム、計算時間と計算量
- 8 ソートのアルゴリズムと計算量
- 9 数値計算（積分・乱数・連立1次方程式）
- 10 パターン認識（アライメント・動的計画法）、小テスト# 2/3
- 11 レコードとオブジェクト
- 12 再帰データ構造（リスト構造・木構造と再帰）
- 13 プログラミング言語の発展と種類
- 14 インタープリタとコンパイラ
- 15 Cプログラミング、小テスト# 3/3

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360059			
科目名	ウェブプログラミング演習	年次配当	2年次
担当者	八幡 紀夫	開講時期	後期
所属	非常勤講師	資格選択区分	ウェブデザイン実務士資格選択必修
授業形態	演習		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

ウェブサイトで利用されるフラッシュのプログラミング (Action Script 3.0) を学習する

到達目標

アクションスクリプトによるプログラミングの学習を通じて、オブジェクト指向プログラミングの基本とプログラミング技法を習得する。

教材

教科書(テキスト)

[改訂版]ActionScript3.0プログラミング入門
ビーエヌエヌ新社/ISBN-13:978-4861006678

テキスト以外

必要に応じて資料を配布

評価方法

定期試験40%、実技30%、授業態度30%

学生に対するメッセージ (準備学習等)

ウェブサイトにとどまらずあらゆるプログラミングの現場においてオブジェクト指向プログラミングが主流になっています。フラッシュはオブジェクトを目に見える形で扱えるためオブジェクト指向の概念を習得する事が容易です。ウェブだけでなくシステム開発やデザインの現場においても応用可能な表現力を身につけましょう。

授業計画

- 1 フラッシュ・アクションスクリプトとは
- 2 アクションスクリプトの基礎1 (オブジェクト指向、クラスとは)
- 3 アクションスクリプトの基礎2 (変数、演算子)
- 4 アクションスクリプトの基礎3 (配列、連想配列)
- 5 アクションスクリプトの基礎4 (制御構造1、条件分岐)
- 6 アクションスクリプトの基礎5 (制御構造2、繰り返し)
- 7 アクションスクリプトの基礎6 (関数、メソッド、イベント)
- 8 アクションスクリプトの基礎7 (クラス宣言とインスタンス)
- 9 アクションスクリプトの基礎8 (表示オブジェクト、グラフィック、シンボル)
- 10 アクションスクリプトの基礎9 (外部ファイルの扱い、画像、動画)
- 11 アクションスクリプトの基礎10 (XMLファイルとの連携、正規表現)
- 12 プログラミング技法 (フラッシュによるウェブアプリケーションとは)
- 13 プログラミング技法 (要件定義、ユースケース図、仕様策定)
- 14 プログラミング技法 (デザインパターン、UML、画面設計とクラス定義)
- 15 アクションスクリプト学習のまとめ (ソース解析他)

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360052			
科目名	データベース	年次配当	2年次
担当者	三沢 英貴	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 ウェブデザイン実務士資格選択 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

代表的なデータベース3種の基本的な構造について学んだ後、データベース言語の1つであるMySQLを用いて、現在の主流であるリレーショナル型のデータベースを実践的に学ぶ。

到達目標

階層型、ネットワーク型、リレーショナル型のデータベースの基本構造を理解し、MySQLを用いたデータベース設計（テーブル2つ以上）、設計に関連する基本的な関数（create, insert, alter table, drop, delete, select）の基本的な活用能力を身につけている。

教材

教科書(テキスト)

テキスト以外

必要に応じて資料を配布。

評価方法

定期試験100%（内訳 知識：30%、コーディング：70%）

学生に対するメッセージ（準備学習等）

プログラミングの経験があり、プログラミングが面白いと感じる者の受講が好ましい。

授業計画

- 1 データベースとは？ ファイル管理からデータベース管理へ
- 2 データベースの体系について ① 階層型の構造、スキーマとインスタンス
- 3 データベースの体系について ② ネットワーク型の構造、バックマンダイアグラム
- 4 データベースの体系について ③ リレーショナル型の構造、関係、DBMSの概要
- 5 MySQLのインストール状況の確認と初期設定
- 6 MySQL基礎 テーブル作成 関数：show, create, desc, insert
- 7 MySQL基礎 フィールド設定とレコード操作 ① select, select+create
- 8 MySQL基礎 フィールド設定とレコード操作 ② alter+ (add, change, modify, drop)
- 9 MySQL基礎 主キー 連続番号取得 primary key, unique, auto_increment
- 10 MySQL基礎 インデックス、エイリアスの設定、構造複製 my_ind, create+like, insert+select
- 11 MySQL応用 フィールド値演算、文字列操作等 avg, sum, count, repeat, substring, concat
- 12 MySQL応用 条件抽出① where+（比較演算子, like, and, or, and+or）
- 13 MySQL応用 条件抽出② select+case, order, limit, group
- 14 MySQL応用 複数テーブルを利用したデータの集約と結合 union, inner join+ (inner, left, right)
- 15 MySQL応用 まとめ

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360053			
科目名	システム設計	年次配当	2年次
担当者	野津 伸治	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ウェブデザイナー実務士資格選択 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 必修		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	－

授業概要

まず、ITアーキテクチャの作り方、上流工程で死角になりやすい非機能要求のまとめ方を事例とともに紹介する。次にシステム設計に不可欠なアーキテクチャ、SOA、仮想化の技術を分かりやすく教授する。更に基礎技術や最新技術を分かりやすく図解する。

到達目標

システムの設計に必要な概念が理解でき、具体的なシステムを設計することができる。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
日経SYSTEMS編集部『ITアーキテクトのためのシステム設計Vol. 1』日経BP

評価方法

小テスト100%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

学内で稼働しているシステムのいくつかを具体的に紹介していくので、ユーザとして利用可能なシステムは実際に使い、システムを設計する視点を徐々に身に付けてほしい。

授業計画

- 1 ITアーキテクチャの作り方（1）
- 2 ITアーキテクチャの作り方（2）
- 3 上流工程（1）
- 4 上流工程（2）
- 5 アーキテクチャの可用性を高める、小テスト# 1/3
- 6 アーキテクチャのパフォーマンスを向上させる
- 7 アーキテクチャの拡張性を確保する
- 8 アーキテクチャの障害に備える
- 9 アーキテクチャのセキュリティを高める
- 10 企業全体の戦略を立てる、小テスト# 2/3
- 11 SOA
- 12 仮想化技術の基礎・設計・運用
- 13 アンチスパム・ツール
- 14 グリッド・コンピューティング
- 15 ディレクトリ・サービス、小テスト# 3/3

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360060			
科目名	マルチメディア演習	年次配当	2年次
担当者	山崎 直子	開講時期	後 期
所 属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ウェブデザイナー実務士資格選択必修 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	演習		
単 位 数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	－

授業概要

デジタルビデオカメラでの撮影、その映像をパソコンへ取り込み、必要なシーンの切り抜き・メニュー作成・BGM挿入などの編集、DVD-Video形式へオーサリング、DVD-Rメディアに書き込む、という一連の流れの原理と操作を学ぶ。

到達目標

ビデオオーサリングソフトを利用してマルチメディアコンテンツの作成ができる。

教材

教科書(テキスト)

テキスト以外

評価方法

作品70%、提出物20%、授業態度10%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

ビデオ撮影・編集・DVD作成はとても楽しいです。

授業計画

- 1 マルチメディアとは
- 2 音声データの取り込みと編集 1
- 3 音声データの取り込みと編集 2
- 4 静止画像の撮影と編集 1
- 5 静止画像の撮影と編集 2
- 6 オーサリングソフトを利用してコンテンツ作成 1
- 7 オーサリングソフトを利用してコンテンツ作成 2
- 8 デジタルビデオカメラを利用して撮影と編集 1
- 9 デジタルビデオカメラを利用して撮影と編集 2
- 10 マルチメディアコンテンツの編集と出力 1
- 11 マルチメディアコンテンツの編集と出力 2
- 12 マルチメディアコンテンツの編集と出力 3
- 13 マルチメディアコンテンツ作品の作成 1
- 14 マルチメディアコンテンツ作品の作成 2
- 15 マルチメディアコンテンツ作品の作成 3

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360046			
科目名	コンピュータグラフィックス	年次配当	2年次
担当者	山崎 直子	開講時期	後 期
所 属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	ウェブデザイン実務士資格選択 上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単 位 数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要

コンピュータグラフィックスは産業界はもとより、私たちの生活に深く浸透してきた。この授業では、コンピュータグラフィックスの技術・技法を学習、習得する。

到達目標

フォトレタッチソフトを利用して、画像加工、ウェブコンテンツの作成ができる。

教材

教科書(テキスト)

テキスト以外

評価方法

試験70%、提出物20%、授業態度10%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

フォトレタッチソフトを使った画像加工からウェブコンテンツの作成まで演習形式で行います。特に動的なウェブコンテンツの作成はなかなか楽しい作業ですよ。

授業計画

- 1 CGとは
- 2 フォトレタッチソフトによる描画の基本(1)
- 3 フォトレタッチソフトによる描画の基本(2)
- 4 フォトレタッチソフトによる描画の基本(3)
- 5 レタッチのレッスン(1)
- 6 レタッチのレッスン(2)
- 7 写真加工のレッスン(1)
- 8 写真加工のレッスン(2)
- 9 合成写真のレッスン
- 10 ロゴと文字のレッスン(1)
- 11 ロゴと文字のレッスン(2)
- 12 Webグラフィック(アニメーション)(1)
- 13 Webグラフィック(アニメーション)(2)
- 14 Webグラフィック(ロールオーバー)(1)
- 15 Webグラフィック(ロールオーバー)(2)

生活学科 情報・経営専攻科目 シラバス

360078			
科目名	資格情報処理 F	年次配当	2 年次
担当者	野津 伸治	開講時期	後 期
所 属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	演習		
単 位 数	2 単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

国家試験である、情報処理技術者試験の試験区分の「応用情報技術者試験」の受験対策を行う。また、資格情報処理Eと合わせて全試験分野をカバーする。特に「ネットワーク」、「システム開発」および「関連知識」に関する午前問題と午後問題の受験対策を行う。

到達目標

応用情報技術者試験の出題範囲における「ネットワーク」、「システム開発」および「関連知識」に関する知識と技術を理解して、応用情報技術者試験に挑戦できることを目指す。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
高橋麻奈「やさしい応用情報技術者講座2011年版」ソフトバンク・クリエイティブ

評価方法

小テスト100%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

資格情報処理A～Eまでに学習した情報処理に関する基本的な知識をさらに掘り下げて学習します。

授業計画

- 1 ネットワーク (1) 基本、通信方式と回線制御方式
- 2 ネットワーク (2) 基本的な通信サービス、LAN
- 3 ネットワーク (3) インターネット、IPアドレス
- 4 ネットワーク (4) セキュリティ
- 5 ネットワーク (5) 暗号化と電子署名の仕組み、小テスト# 1/3
- 6 システム開発 (1) システムの処理形態、性能・処理を測る
- 7 システム開発 (2) システム開発の流れ、要求定義
- 8 システム開発 (3) プログラム設計、プログラミング
- 9 システム開発 (4) プログラムの設計手法、テスト
- 10 システム開発 (5) システムの運用と保守、質の向上、小テスト# 2/3
- 11 業務知識 (1) 標準化と権利
- 12 業務知識 (2) 品質管理
- 13 業務知識 (3) 損益分岐分析
- 14 業務知識 (4) 経営分析
- 15 業務知識 (5) プロダクトポートフォリオマネジメント、SWOT分析、小テスト# 3/3